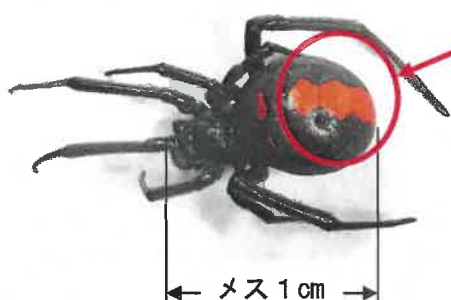


セアカゴケグモに注意！

発見したときは、環境政策課まで連絡をお願いします。



【セアカゴケグモの特徴】

- ・ 腹部の背側に赤い縦条模様がある。
- ・ 体長は約 1 センチ。
- ・ 全身黒色（ただし産卵間近のメスは茶褐色になる）
- ・ 腹部の腹側に砂時計型の赤い模様がある。
- ・ 幼体は腹部の模様が様々で、白い斑点模様が入る。

※攻撃性がなく、おとなしいクモです。

※毒を持っているのはメスだけです。

むやみに素手で触らないかぎり かまれることはありません！

【特に注意する場所】

物陰になる暖かい場所で、人工物のくぼみや裏側、隙間などでよく発見されます。

- ・ 排水溝の側面、ふたやグレーチングの裏
- ・ 公園内のベンチの裏や遊具の底面
- ・ プランターのふちや底
- ・ 屋外においてあるサンダルや靴の中
- ・ 使っていない自転車
- ・ 自動販売機の裏

セアカゴケグモを発見したときは

【駆除・防除】

- ・セアカゴケグモを見つけても絶対に素手で触らないでください。
- ・市販の殺虫剤で駆除ができます。
- ・卵のう(たまごが入っている袋)は殺虫剤が効きません。靴で踏みつぶして駆除してください。
- ・清掃や花壇の手入れなど、屋外で作業するときはゴム製の手袋などを着用してください。
- ・駆除したクモは保管してください。

【通報】 市役所環境政策課 直通電話 332-2068

セアカゴケグモにかまれたときは

【かまれたときの症状】

- ① かまれた直後: 針で刺したような「チクツ」とした痛みを感じます。
↓
- ② 30～40分後: かまれたところが赤く腫れたり、痛みが広がったりします。
↓
- ③ 悪化した場合: 吐き気や激しい筋肉痛、けいれんの症状があらわれることがあります。
※通常は、数日で回復する例が多く、咬まれても重症になることはまれです。
※国内では、セアカゴケグモに咬まれて死亡した例はありません。

【かまれたときの応急処置】

- ・かまれた部位を、温水や石けん水で洗い流します。
 - ・患部を氷水等で冷やします。
 - ・出来るだけ早く、かかりつけの病院に行って、治療を受けることが大切です。
 - ・特に小児や高齢者がかまれた場合は注意が必要です。重症化した場合は速やかに救急病院で受診してください。
- ※かんだクモの種類が分かるように、病院に行く際には、殺したクモをご持参ください。

問い合わせ

糸島市 環境政策課 環境・エネルギー係 電話332-2068